

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	その他専門店〔楽器〕 （経営者）	・観光立県沖縄にとって、観光客の増加が大きくプラス要因になっている。 ・アウトレットモールのオープン、水族館のリニューアルオープン、モノレールの運行スタートなど、新しいモノが徐々に2003年にいい効果をもたらす。
	変わらない	スーパー（経営者）	・催事月という事もあり、前年に比べると多少改善しているが、競合店の閉店や現在のデフレ状況や安売りなどによる単価の動き等、相変わらず厳しい状況にあることから、今後もこの状況は続く。
		スーパー（企画担当）	・競合各社の新店舗オープンなどにより今後もますます競争が厳しくなり、単価についても現状として上がることは期待できないことから、単価の低い状態はしばらく続き、今後もこの厳しい状況は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・競争の激化もあるが、弁当類の単価の下落が続いている。安く済ませようという意識が根強く感じられる。
		コンビニ（エリア担当）	・現状の推移を維持するのが精一杯。経済環境も景気を善くする程の要因が見当たらない。
		衣料品専門店（経営者）	・周辺企業の状況をみると、以前と比べて客数がかかり減少している。全体的に、売上も例年に比べて少ない。春先に期待をしている。
		家電量販店（副店長）	・消費者動向は全体的に見て必要な物だけの買い物になり、高価商品の動きが悪く、客単価はこれからも低下する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・依然として景気の不透明感が漂っており、簡単には景気は回復しない。販売上、客の動きも現在とさほど変わらない。
		旅行代理店（経営者）	・入域観光客数は全体的に好調だが、沖縄からの旅行者数は台湾旅行を中心に不況やテロ不安などで減少しており、今後も業界的な厳しさは続く。
		観光名所（職員）	・現状の来客者数は、九州沖縄サミットが開催され、また琉球の城及び関連遺産郡が世界に登録された平成12年を上回る水準まで増加しているが、現状以上の増加は厳しい。イラク情勢によっては悪くなることも危惧される。
	住宅販売会社（経営者）	・新規マンションの成約状況に勢いが無くなってきている。	
	住宅販売会社（従業員）	・銀行等の不良債権処理問題は出尽くした感があり、購買心理は春口から動いてくるのではないかの期待はあるが、完全に底を這ってる金利の状況などから今後も変わらない。	
	やや悪くなる	百貨店（担当者）	・ポ・ナス期、クリスマス期ともに回復要素は見当たらず、今後も景気はやや悪化する。
百貨店（総務担当）		・オーバーストアの状況に拍車がかかり、消費の回復はまだ先となる。	
その他専門店〔書籍〕 （店長）		・もうかり方などについて書かれた商品がかかり好回転で売れていることから、事業者の方は個人消費をどのように伸ばすかについて考えていることが受けて取れる。消費者の財布のひもがそれだけ固くなっている。	
その他飲食〔居酒屋〕 （経営者）		・ニーズがより細分化し、中心ターゲットの必要としているものをしっかりとつかまないと安いだけでは自分の首を閉めかねない。一極集中の傾向が強まり、当たるとその店舗系列だけに来客者は集中している感がある。 ・トレンド、価格、味、サービスなど、客がこの不況下で楽しく、そして、少しでも安くいいものを求め妥協しなくなっている。	
都市型ホテル（マーケティング担当）		・イラクや北朝鮮の問題など、世界情勢が懸念される。	
悪くなる	商店街（代表者）	・大型店は必死にいろんな手を尽くし集客を行っているが、中小商店街では個々の店舗の集合地であるためなかなか集客に対しての対応ができず、日々真綿で首を締められる状態である。力の弱い順番に淘汰されるのではないかとということが危惧される。その傾向が実際につかがえることから、危機的な状況に陥ってる。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信業（従業員）	・新規市場への参入に関してこれまで付き合いの少なかった同業者とのコラボレーションで進出を検討するなどの話があり、今後に期待がもてる。

	変わらない	輸送業（営業担当）	・人の移動の活発な時期だが、企業の経費削減の様子から、さほど変わらない。
		通信業（営業担当）	・大型受注の見込みが少ない。
		不動産業（支店長）	・景気が良くなる、良い材料が見当たらない。
	やや悪くなる	建設業（経営者）	・問い合わせ及び引き合い件数が減少していることから、2、3か月後の契約に結び付く見込みが減少している。
		輸送業（総務担当）	・例年通り物量は減少する。大型店の閉鎖に伴う影響も大きい。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・一生懸命頑張ろうという意識はあるが、それ以上に社会環境が不安定で保険等非常に不安要素が多い。気持ちと同様に環境の悪さから今後も状況は変わらない。良くなりそうな気配は今のところ見受けられない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・雇用面では3月、4月までは改善もみられるだろうが、周辺の企業状況から全体的には変わらない。
		職業安定所（職員）	・年齢別の求人・求職の状況を見ると、全職種で求職超過の状況にある。特に30歳未満の若年層での求職超過は著しい。このため、通常は比較的求人の多い「20～39歳」の層においても、有効求人倍率は0.27倍～0.36倍と低くなっている。
	職業安定所（職員）	・11月の廃止事業所数は106件で、前年同月比で32.0%増加している。 ・新規求職者無業者は191人で前年同月比36.4%増加しており、増加傾向にある。 ・今後もこの状況が続く。	
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-